



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 鈴茂器工株式会社
 コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 美奈子

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,994	17.1	154	60.0	153	60.9	105	57.0
30年3月期第1四半期	2,405	5.4	386	13.9	392	15.3	245	121.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 63百万円 (%) 30年3月期第1四半期 238百万円 (138.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	16.27	
30年3月期第1四半期	40.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	13,123	11,077	84.4
30年3月期	13,120	11,238	85.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 11,077百万円 30年3月期 11,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		15.00	15.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,750	1.9	550	15.4	550	15.9	370	15.2	57.12
通期	9,600	5.4	1,250	1.0	1,250	1.1	850	2.0	131.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	6,480,000 株	30年3月期	6,480,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	2,905 株	30年3月期	2,841 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	6,477,138 株	30年3月期1Q	6,057,279 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、鉱工業生産は足踏みが続く一方、家計部門では持ち直しの動きが見られ、景気の回復基調が持続しました。内需では企業収益が堅調な中、設備投資は増加傾向にあり、また所得の堅調な回復により、個人消費にも持ち直しの動きが見られました。外需では、輸出は増加基調が続く見通ししながら、米国トランプ政権の保護主義への傾斜とそれに伴う貿易摩擦の激化が懸念される状況です。

外食産業につきましては、全体的な売上は引き続き増加基調にありますが、人手不足は慢性化しており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループとしては、お客様にとって満足度が高く、いち早くご相談・ご用命いただける会社として「ファーストコールマシナリー」になること、そして「信頼され、信頼に応えられる企業」を目指し、高付加価値製品の開発や、更なる販売体制の強化を行ってまいりました。

販売状況につきましては、主力製品である店舗向け小型ロボットや大型機をベースに、省力化・省人化をはじめとしたお客様のニーズに沿った営業活動を展開してまいりました。また、国内では、当社独自の展示会「スズモフェア」や西日本食品産業創造展・FOOMA JAPANなどの展示会を計画通り開催いたしました。海外につきましては、寿司文化の浸透を世界に働きかけるため、大規模な国際展示会に参加するとともに海外販売店との円滑な展開を収めました。

子会社では、株式会社セハーージャパンは、アルコール系洗浄剤や離型油等の販売拡大を積極的に展開し、Suzumo International Corporation (SIC) およびSuzumo Singapore Corporation (SSC) は、小型ロボットを中心に積極的な販売活動を行いました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間における売上高合計は19億94百万円(前年同期比17.1%減)となりました。また、利益につきましては、営業利益1億54百万円(前年同期比60.0%減)、経常利益は1億53百万円(前年同期比60.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5百万円(前年同期比57.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は18億45百万円(前年同期比18.5%減)、営業利益は1億58百万円(前年同期比59.3%減)となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億49百万円(前年同期比4.9%増)、営業損失3百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し131億23百万円となりました。これは主に、たな卸資産が49百万円減少した一方で、繰延税金資産が57百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億64百万円増加し20億46百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が2億44百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億61百万円減少し110億77百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により97百万円減少したこと、退職給付に係る調整累計額が1億67百万円減少したこと、および親会社株主に帰属する四半期純利益により1億5百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成30年5月14日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,609,543	6,586,065
受取手形及び売掛金	1,185,151	1,158,267
たな卸資産	1,605,404	1,555,644
その他	46,823	60,165
流動資産合計	9,446,922	9,360,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545,094	1,524,621
土地	1,062,506	1,062,506
その他(純額)	115,997	124,670
有形固定資産合計	2,723,597	2,711,797
無形固定資産	82,052	97,802
投資その他の資産		
投資有価証券	368,496	395,361
繰延税金資産	307,037	364,434
その他	202,752	204,321
貸倒引当金	△10,090	△10,090
投資その他の資産合計	868,196	954,027
固定資産合計	3,673,846	3,763,628
資産合計	13,120,769	13,123,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,911	300,140
未払法人税等	181,557	50,622
賞与引当金	161,354	139,708
その他	383,008	553,952
流動負債合計	1,126,831	1,044,422
固定負債		
繰延税金負債	1,209	1,168
役員退職慰労引当金	14,368	14,968
退職給付に係る負債	657,741	901,862
その他	81,722	84,249
固定負債合計	755,041	1,002,248
負債合計	1,881,872	2,046,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,015,896	9,022,819
自己株式	△3,339	△3,498
株主資本合計	11,149,935	11,156,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,115	102,837
為替換算調整勘定	10,380	△8,559
退職給付に係る調整累計額	△6,535	△173,877
その他の包括利益累計額合計	88,961	△79,600
純資産合計	11,238,896	11,077,099
負債純資産合計	13,120,769	13,123,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,405,870	1,994,468
売上原価	1,234,270	1,011,701
売上総利益	1,171,599	982,767
販売費及び一般管理費	784,872	828,153
営業利益	386,727	154,613
営業外収益		
受取利息	318	311
受取配当金	919	1,097
為替差益	4,529	—
その他	483	371
営業外収益合計	6,250	1,779
営業外費用		
手形売却損	5	3
売上割引	391	275
為替差損	—	2,770
その他	17	0
営業外費用合計	413	3,049
経常利益	392,564	153,343
特別利益		
有形固定資産売却益	—	247
特別利益合計	—	247
税金等調整前四半期純利益	392,564	153,591
法人税等	147,421	48,217
四半期純利益	245,143	105,373
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	245,143	105,373

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	245,143	105,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,164	17,721
為替換算調整勘定	△10,858	△18,940
退職給付に係る調整額	120	△167,342
その他の包括利益合計	△6,573	△168,561
四半期包括利益	238,569	△63,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,569	△63,187
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。